

1.4 点検標章管理システムのインストール

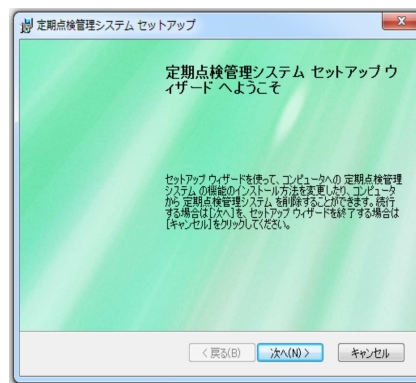
■インストール手順（自己責任の範囲内でのインストールを行って下さい）

- ①ttk.zipのファイルをダウンロードを行い、任意の場所に保存します。
- ②ttk.zipを解凍を行うとsetup.exeが表れますので、ダブルクリックなどで実行を行って下さい。

- ⑧セットアップウィザード画面が表示されたら、画面指示に従ってインストールを開始します。

インストールする際は「次へ」ボタンをクリックしてインストールを進めてください。

- ⑨画面を進めるとユーザー名、所属の入力となります、入力後「次へ」ボタンをクリックしてください。



- ⑩セットアップオプションが表示されるので通常は「標準」ボタンをクリックしてください
インストールするドライブやフォルダを変更する場合は「カスタム」ボタンを押せば変更可能です。

- ⑫インストールが終了しましたら、画面に左のアイコンが表示されます。



「定期点検管理システム」を起動して初期設定を行ってください。

- ・起動後インストール日付の入力が要求されますので、インストールの日付を登録して下さい。
- ・**シリアルNOを登録して下さい。**ダウンロード版はお支払い確認後メールでシリアルNoを発行します。

登録後起動すると点検入力が開きますが、まずコントロールマスタメンテナンス、検査種別マスターの登録を行って下さい。

次ページの「定期点検管理システムのかんたんな作業手順」をお読みになった上でご利用下さい。

System House Mola

1.5 定期点検管理システムのかんたんな作業手順

【定期点検管理システムを使うための準備】

① コントロールマスターメンテナンスの登録

① システムをWindowsより起動します。

メニューから、メンテナンスメニューよりコントロールマスターメンテナンスを起動します。

社名、住所などの登録を行って下さい。

② 管理する定期点検の種類を登録してください。

② 検査種別マスターメンテを起動して登録を行ってください。

検査種別とは、点検の基準となる点検周期に名前をつけて登録を行って下さい。

納品時に登録がありますので、必要があれば登録や変更を行ってください。

The image shows two overlapping windows from the 'コントロールマスターメンテナンス - 定期点検管理システム Ver1.00' application.

The top window, titled 'コントロールマスターメンテナンス', contains a form for company information:

自 社 名	
〒	
住 所	
T E L	
F A X	
受付担当者	
日付印刷形式	<input type="radio"/> 2002年1月1日 <input type="radio"/> 2002/01/01 <input type="radio"/> 02/1/1 <input checked="" type="radio"/> 平成14年1月1日

The bottom window, titled '検査種別マスターメンテ', contains a form for inspection type information:

検 査 名	不整地運搬車 特定自主検査
検査種別略称	不整地車特自検
点検サイクル	24ヶ月

At the bottom of the '検査種別マスターメンテ' window, there is a search bar with the text '不整地運搬車 特定自主検査' and buttons for '新規' (New), '登録' (Register), '削除' (Delete), 'キャンセル' (Cancel), and '終了' (End).

【定期点検管理システムを使う】

① 定期点検後の入力

⑥メニューから点検入力を起動します。

点検入力には上段、中段、下段と3つの部分に分かれています。

上段は得意先のデータ、中段は顧客にある機械の詳細データ、下段は各機械の点検の履歴と予定のデータです。

上段の顧客名より順次登録を行って下さい。

顧客データの登録が終われば、機械データです、機械データの点検起算日（前回点検日）が入力されれば、下段の点検履歴、予定データが作成されます。

機械データの左側のリストにある各機械の詳細が右側に表示されています。

点検データの左のリストにある各点検データの詳細が右側に表示されています。

点検の都度、点検日を登録すれば次期点検予定のデータが自動的に作成されます。

① 検査案内をお客様に送る

⑦印刷メニューから検査案内の画面を表示します。

検査予定日付の自至を入力すると、案内したい期間に次期点検時期が来る顧客や機械を抽出します。

また「案内済」は一度既に案内を発行したデータを抽出に含むか含めないかを指定します。

「含む」と設定した場合一度検査案内を発行した顧客に対して再度案内を発行します。

「はがき」「ファックス」のどちらかに案内を出力するかを選択します。

「はがき」を選択した場合、宛先を含めて裏表印刷をするか、裏面の案内文章だけ、または宛先だけを印刷するかの選択が可能です。

両面の印刷を指定した場合はプリンターに両面印刷の機能が必要です。

① 各種レポート

印刷メニューの検査予定計画書、検査実績一覧表、未実施一覧表などは社内資料としてご利用頂けます。いずれも検査日付を指定して、顧客を選択してデータを抽出します。

① システムの管理

万が一の場合に備えて、データファイル退避プログラムよりデータファイルのコピーを取っておくと簡単にできます。

システムが壊れてしまった場合、再セットアップを行った上で、データファイルをデータファイル退避プログラムで作られたファイルの名前を書き換えて、置き換えることによって、復旧が可能です。

*それぞれの詳しい説明は第3章各プログラムの操作説明を参照して下さい。
